

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日: 2023年 12月 28日

事業所名: 夢門塾ゆうゆう新市

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	1	3	3	公園やお出かけを行うなど工夫している。限られた面積で仕切りを使用することや運動室を広く使う工夫をしている。児童同士で喧嘩した際、クールダウンが出来る空間を室内で設けることが難しい時もあるため外で職員とクールダウンを行うことがある。
	②	職員の配置は適切である	6	1	0	職員の補充があればより良い支援に繋がれると思うが事故もなく支援出来る配置はされている。送迎や公文式学習を別室で行うので手薄な時間帯が時々あるが、時間帯を工夫して手薄な時間帯を減らしている。
	③	衛生面の管理が行き届いている	6	0	1	建物自体が古く、衛生的に不安な所が数か所ある。週に一度おもちゃの消毒や毎日の掃除、消毒を徹底している。社用車の清掃等、毎日の掃除でないものも定期的に行っている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	5	1	1	どのように改善していくかを周りと話し合える環境である。朝礼の際、業務を報告し合い改善の意見を交換することができている。「私の歩み」を通して目標を設定し、半年毎評価し、次の半年に繋げている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	6	1	0	保護者様が知りたいと思うこと、知らない事を発信していこうとしている。(前年度アンケートにより)前年度のアンケートに基づき、避難訓練の周知や保護者会を企画し、保護者様のニーズに応えている。
	⑥	自己評価の結果を公開している	6	1	0	毎年必ず公開している。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	7	0	0	社内、社外の事業所でも会議や研修の機会を確保している。社内研修をほぼ毎月行うことができている。公休等で参加できなかった研修も資料を通して共有を行っている。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	6	1	0	保護者・職員からの情報収集等を行いながら作成している。毎朝当日利用の児童を中心に情報共有の場があり、情報交換をし支援の方向性を話し合うことがある。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	5	0	2	出勤の職員で行ったり、後に全職員に共有をしている。朝礼の際に本日の計画を共有、決定している。その日のレクリエーション担当が決定することが多いが利用児のバランスを考えて話し合っていることもある。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	5	2	0	今年度は言語聴覚士による言語レクをほぼ毎月行うことができた。様々なことをしっかり考えている。平日の活動は児童の意見を取り入れており、活動が固定化してしまう事が多い。先週の活動と一緒にならないように気を付けている。職員が集まって案を出し、初めて行く場所や中々できない体験ができることを企画している。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	5	2	0	同じ曜日で外出が多すぎたり、保護者負担金が増えるなど偏りが出ないように話し合っている。その都度、子ども達の様子、関係性等に合わせて話し合いを行い、支援に繋げている。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	6	0	1	一人一人の特性や利用者達の相性、状況に合わせて個別活動や集団活動を設定している。集団活動時間に参加できない児童に対する個別活動の提案をより多く行えるようにする工夫をしていきたい。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	3	マンツーマンでの支援が必要な利用者へは計画的な分担を行っている。毎朝、朝礼の際に活動内容の具体的な内容やその際の注意点等を確認している。公文式を行っている為、しっかりと役割分担をして支援時間の計画をしている。

	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	0	記録を書く際に情報共有をして記入している。 なるべく当日中に記録を書き、書きもらしや間違いのない内容がかかるようにしている。 日々の記録を詳しく書けるよう心掛けている。 毎日の記録を振り返り評価をしたり、改善に繋げる為に見返している。 提供記録についての研修を行い、書き方の基礎を学ぶ機会を設けることができた。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	1	定期的に保護者様と連絡を取り合い、個別支援計画を見直している。 その都度、課題を見出し、見直し変更している。
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	7	0	0	季節を感じるイベントや工作を始め、日常生活の中での成功体験が積み重ねられる活動、余暇の充実等、様々な活動を組み合わせている。
関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	2	1	下校表が変更になる事も有る為、保護者様と連携し、連絡をお願いしている。 子どもが急に早退した場合等は送迎時対応している。 放デイには下校表が必要だと知らない学校もある為定期的に互いに知ることが必要だと感じる。 学校からの発信は少ないが、何かあれば連絡をくれる所もあり、関係性を作れていると思う。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	2	4	1	就学前のことは分からないことが多いが、児童発達支援事業所から事前に情報をいただくこともあり、利用曜日等を調整している。 グループ内の児童発達支援事業所とは情報交換を行いやすい。 学校とはたくさんではないが、会議等での情報交換を行っている。 学校や他の放課後等デイサービス等と情報共有を行っている。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	1	6	0	該当する利用者がおらず、提供したことがない。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	4	1	検査結果を頂き、共有を行っている。 助言や研修を受けるような機会がない。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	7	0	0	送迎時や交流会、担当者会議などで保護者様と利用者の様子を伝える際共有出来ている。 連絡帳等で気になる様子等を書いて下さることもあり共有している。
	保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	5	1	1
㉓		保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	5	2	0	管理者や児童発達支援管理責任者が対面、電話等でアドバイスをを行うことが多い。 ご希望のある方へは言語聴覚士による構音検査を実施し、アドバイスを行った。
㉔		保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	6	1	0	昨年度のアンケートでご希望意見が多かった為、交流会を実施した。
㉕		子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1	0	苦情と悩ましきものを聞いた際も、即時管理者や児童発達支援管理責任者へ伝えていく為、報告があればすぐに対応している。 迅速に報告、相談ができない時もあるが出来るだけ早く伝えている。 苦情やご意見などを頂いた際は申し送りノート等で共有している。
㉖		定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	7	0	0	ゆめだよりや夢通信、夢ブログを通して発信している。
㉗		個人情報保護に十分注意している	7	0	0	お便りやブログに載せる利用者は許可を頂いている方のみとし、表を作成して間違いのないようにしている。 許可をいただいていない方がなるべく写っていない物を使用するよう努めている。
㉘		障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	0	聴覚障害の子が他児や職員とコミュニケーションをとる為に指文字表を貼り、他児らも気軽に交流できるよう努めている。 忙しい保護者や伝わりにくい方にはメッセージでの対応をしている。 子ども達へは視覚的な支援を行っている。
㉙		地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	6	1	0	ゆうゆう祭りに利用者達もボランティアとして参加し、地域の方と交流できた。 地域イベントへの参加をしている。また、事業所で地域の方にも向けた交流会を開催している。

非常時などの対応	③⑩	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	6	1	0	マニュアルをいつでも気軽に読めるようにしている。見える所にすべて置いている。
	③⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	5	2	0	出来ていない時期もあった為、今後は定期的に出来るよう計画していく。年に2回実施できた。水害・火災等の避難訓練を行っている。
	③⑫	虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	0	社内で虐待防止の研修があり全員参加している。
	③⑬	いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	5	2	0	そのような事例が現在はない。他児に手が出る等、利用者が興奮状態の時は別室で職員と落ち着けるように工夫している。
	③⑭	保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	7	0	0	昼食後の薬が必要な利用者へは社内の投薬表を活用し、ダブルチェックを行っている。
	③⑮	ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	5	0	2	記録をし、共有を行っている。全職員が記録、確認を定期的に行えていない為、確認するよう意識づけをする。

保護者様評価、自己評価についてまとめ

自己評価で活動スペースを十分に確保できていないと感じている為工夫をし活動をしていることに対し、保護者様からは活動スペースは確保されているとのご意見を多数いただきました。限られたスペースではありますが、今後もよりよい工夫を行ってまいります。また、今回保護者様評価で活動内容や行事予定などの会報は周知されていますが、保護者会や避難訓練等はご存じない保護者様がいらっしゃったので周知する場や機会を増やして発信してまいります。